

市立

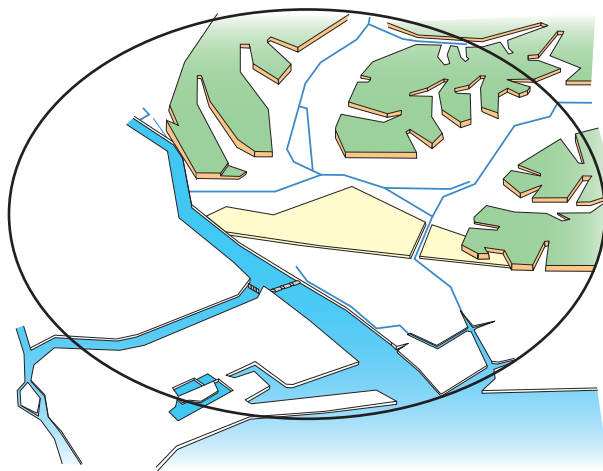
2006 年（平成 18 年）8 月 1 日発行

市川自然博物館

8-9 月号 （通巻 105 号） だより



自然博物館のめ



アブラコウモリ

左上：顔にくらべて胴体は小さい
左下：ユスリカを求めて水辺に集まる

右上：翼の膜は後足につながっている
右下：市内各所の水辺に生息

今年度の特集は、博物館の観察日誌に記録された様々な内容を、「生き物カレンダー」としてまとめました。今月は『**8・9月**』を紹介します。

いちかわ 生き物カレンダー

8月・9月



立秋、秋分と、暦の上では秋になりますが、まだまだ気温の高い日が続きます。それでも陽射しが変わり、日暮れが早くなると、秋の花々が咲きだします。夏と秋の間を行きつ戻りつしながら、季節は移ってゆきます。今年度の特集では、平成10年度(1998年)以降の博物館の自然観察記録を、歳時記風にまとめています。

〇市川の8月

8月はその年の最高気温を記録し、月平均気温も最高になる月です。博物館の記録も“暑い”の文字が目立ちますが、細かく見てゆくと、8月中ずっと暑いわけではないことが解かります。梅雨明け後の猛暑で続いてきた真夏日や熱帯夜などの連続記録も途切れ、8月2週ぐらいからは“涼しい”の文字も見られるようになります。暑い涼しいを繰り返すうちに、早い年では8月下旬に“秋雨前線”も現われて、夏の終わりへと向います。

植物は、まだ花の量は少ない季節ですが、ピンクで目立つミソハギの他にも、他の植物を覆うほど伸びたつるの植物や林の縁で咲くヒヨドリバナなど、ひっそりとした花々が咲き出します。

動物では、大町の湿地でヘイケボタルが発生のピークを迎え、トンボの仲間は縄張り争いや産卵で、活発に動き回ります。セミの仲間では最後に鳴き出すツクツクボウシの声が聞こえ、8月中旬ともなると、クツワムシやウマオイなどの秋の鳴く虫の声も聞かれ始めます。

〇市川の9月

9月は、1年で一番降水量の多い月です。梅雨の頃の6月の方が多い年もありますが、驟雨(秋の長雨)と台風のもたらす雨によって、降水量が増えます。30℃を超える残暑の日もあれば、急に北東風の吹く日もあり、周期的に晴れと雨を繰り返しながら、朝晩の涼しさが感じられるようになります。

植物は、秋の草花が咲き始めます。一つ一つは小さくて葉陰に咲くものもあるので、立ち止まってじっくりと見たほうが楽しめます。湿地のミゾソバなどのタデの仲間は、集まって咲くので、見ごたえがあります。どんぐりなどの木々の実も、まだ青々とはしていますが、大きく育ち目立ちだします。

動物では、渡りをする鳥類が羽を休めに訪れ、干潟や林がひと時賑やかになります。草原ではバッタの仲間が成虫になり、大きなショウリョウバッタやトノサマバッタが足元から飛び出してきて驚かされます。鳴く虫の声も大きくなり、秋の深まりを感じられるようになります。

いちかわ生き物カレンダー 8月

植物のうごき

動物のうごき

八月上旬

イネの花が咲く

草原でツリガネニンジン、サワヒヨドリ、アキカラマツ咲き出す



ツリガネニンジン

イヌゴマの花咲く

モミの木の球果大きくなる

ミソハギ満開になる

クズの花咲く

つる草のアオツヅラフジの花咲く

ツクツクボウシ鳴き始める

枝先にノシメトンボ、ナツアカネなどたくさんとまっている

ヘイケボタルよく見られる

ショウリョウバッタ、クマバッタモドキの成虫見られる

渡り途中のサシバ見られる

クマゼミの鳴き声聞こえる

干潟にキアシシギなど秋の渡り鳥来始める



キアシシギ

八月中旬

タケニグサ咲く

タコノアシ咲く

オモダカの白い花咲く

キツネノカミソリ林の中で満開

ニオイタデ、オオケタデ咲く

ヒヨドリバナ咲き始める

スズメウリ、ヘクソカズラなど湿地でつる植物の花咲く



キツネノカミソリ

トビハゼの幼魚干潟で見られる

キイロスズメバチの大きな巣が見られる

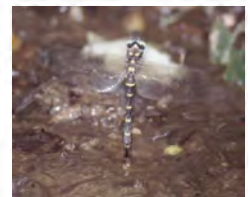
クツワムシ、ウマオイ、コオロギなど秋の虫が鳴き始める

湧水の流れてオニヤンマ産卵

クヌギの樹液にたくさんの昆虫集まる

アサギマダラ見られる

コムラサキ見られる



オニヤンマの産卵

八月下旬

ガガイモの花が咲く

フジバカマ咲き出す

湿地でハッカの花咲く

コバギボウシ林の中で咲く

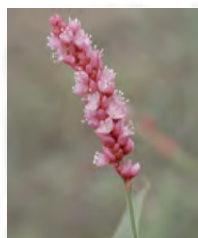
ピンクの小さなツルマメの花咲く

シンジュに実がつく

ツルボの花が咲く

ササクサの花が咲く

河川敷にサクラタデ咲く



オオケタデ

水たまりでアゲハ、アオスジアゲハ給水

イオウイロハシリグモの子グモ生まれる

河川敷の水辺に、アオモンイトトンボ、アジイトトンボ、ハイイロゲンゴロウなど見られる

アラカシの目立つ斜面林でムラサキシジミ見られる

サワガニ卵を抱える

アオマツムシ鳴き始める

江戸川放水路ハゼ釣り船で賑わう



アオマツムシ



ツルマメ

いちかわ生き物カレンダー 9月

植物のうごき

ジュズダマ花が咲く

ツリフネソウの花が見ごろ

林の中でカノツメソウの花が咲く

湿地でアカバナ、コシロネ、ハシカグサ
などの花が咲く



ジュズダマ

クズの花見頃

マコモの花が咲く

湿地でイボクサの花が咲く

河川敷のピオトープでミズアオイ咲く

オオブタクサが人の背丈より高い

稲刈り後の田んぼで、コナギ、ヒメジソ
など秋の野草咲く

土手にヨメナ、ワレモコウ咲く

イヌキクイモの花見ごろ

フジバカマ見ごろになる



フジバカマ

サンショウの実が赤く熟しはじめる

湿地でタデの仲間が花盛り
ミズヒキ、ポントクタデ、アキノウナギツカミなど

ミゾソバの花の群生が見ごろ

田んぼでミズワラビの群生見られる

ゴンズイの実赤く目立つ

ススキの穂が目立つ



ススキ

動物のうごき

コノシメトンボ、ナツアカネ、
体が赤くなってくる

渡り途中のセンダイムシクイ見られる

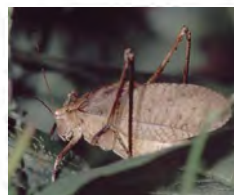
迷蝶としてカバマダラがみつかったことがある

サワガニの仔が見られる

今年生まれのヤマカガシ見られる

クツワムシなどの鳴く虫の声賑やか

サシバの姿が多く見られる



クツワムシ

河川敷、草原で大きなトノサマバッタが
たくさん見られる

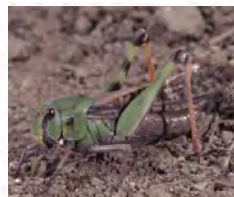
カネタタキの鳴き声聞こえる

長田谷津にオオタカ姿を見せはじめる

渡り途中のサンコウチョウ時々来る

水の中には、ギンヤンマのヤゴなどが見られる

草むらにクルマバッタモドキ、ショウリョウバッタ
などバッタがたくさん



トノサマバッタ

大きなカマキリ成虫見られる

ミドリヒョウモン時々見られる

キイロスズメバチなどスズメバチ目立つ

ジョロウグモなどの大きなクモの巣目立つ

干潟には今年生まれのカニやハゼの子どもなど
小さな生き物がたくさん

ウラナミシジミ見られる

アキアカネの大群が飛来



スズメバチの巣

九月上旬

九月中旬

九月下旬



街かど自然探訪

おじゃまします!

こうやしんまち

高谷新町・工場裏の護岸

高谷新町は昭和37年に海を埋め立ててつくられた比較的新しい町です。埋立地のため、どの道も突き当たりまで行くとすぐに海を臨むことができますが、歩ける護岸に出られる場所は1ヶ所だけです。中央の道から日新製鋼の看板を目印にして脇道を通き当たりまで行くと、護岸に出ます。この護岸は700m位あって、海をのぞきながら歩くと、ミズクラゲやカニを観察できます。突端に着くと、三番瀬や市川港に入ってくる大型の運搬船を近くで見ることができます。



くすのきのあるバス通りから No.50



その後のツマグロヒョウモン

昨年、庭のスミレを食べていたツマグロヒョウモンは年を越せなかったようです。その後、あちこち探しましたが、サナギがありませんでした。7月13日、14日、28日、八幡6丁目、4丁目で何度かメスの成虫を見かけました。どこから来たのでしょうか、他の場所では越冬できたのでしょうか。

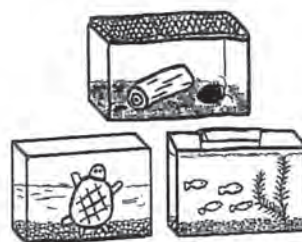
30日昼過ぎ、外出から戻った息子が「飛べなくて死にそうな蝶がいるよ。」と知らせてくれました。見るとナヨナヨと飛んでスミレの葉の間をノコノコ歩いて

入って行き、葉の裏にオシリをつけて卵をうみつけている様子でした。はねに白黒模様のあるメスでした。

7月5日、曾谷にある第三中学校でニイニゼミが鳴いていたそうです。例年、八幡より早くセミがなくようです。8日、八幡6丁目でもニイニゼミが鳴き出しました。その夕方、松戸の「二十一世紀の森と広場」付近を通りがかりました。ヒグラシが鳴いていました。20日は八幡6丁目で、25日に葛飾八幡の境内でミンミンゼミが鳴いていました。

(M. M.)

博物館で こんないきもの飼ってます！



マメコブシガニ

カニといえば横歩き、ですが、このカニは前にも歩けます。観察のポイントは脚の断面です。多くのカニでは平たい断面をしているために、関節の動く向きが決まってしまうのですが、マメコブシガニは断面が丸いので、関節が前横どちらにでも動かせるのです。

潜っている砂から出る時は、まず眼だけ砂の上に出し、次に上半身をむっくりと起こします。そして、前方向に1歩2歩と進むと、体全体が現われ、その後は前歩き、または横歩きになります。



〇 〇

こんなふうに飼っています

〇 〇

※ ※ ※ レイアウト ※ ※ ※

- ・底 砂 … 潜って隠れてしまうので、底砂は少なめの方がどこにいるのかわかりやすいですが、潜ったり出たりする様子もおもしろいので、ちょうど埋まるぐらい敷いた方が良いでしょう。
- ・水 深 … 水槽の3分の1も入っていれば大丈夫です。
- ・水替えなど… 投げ込み式のフィルターをいれてあります。汚れ具合を見て、数週ごとに3分の1ぐらい交換します。
- ・その他 … 他のカニなどと一緒に飼うと、攻撃されて弱り長く飼育できません。マメコブシガニより小さいヤドカリなどは大丈夫です。

※ ※ ※ 餌 ※ ※ ※

乾燥エビの粉を毎日少量、貝の剥き身などのかけらを週に1～2回やります。



◆大町公園より

- ・サワフタギが咲いていました(5/7)。周囲にはシロダモやムラサキシキブといった競争相手もありますが、負けずに花数を増やしてほしいものです。
- ・オニスゲが大きな実をつけていました(6/4)。湿地では、カヤツリグサ科やイネ科の植物が勢いをつけてきました。
- ・オオコオイムシの生まれたばかりの幼虫がたくさんいました(6/6)。小さなニホンアカガエルやホトケドジョウも見られました。

金子謙一(自然博物館)

- ・フクロウの親鳥を見ました(6/6)。朝と昼、ほぼ同じ場所にいたので近くに幼鳥がいるのでしょうか。

宮橋美弥子(自然博物館)

- ・ヨコズナサシガメ、ヤニサシガメ、エサキモンキツノカメムシが園路と湿地の間にある杭にいました(5/14)。

K. H. さん

- ・ナガサキアゲハがキショウブで吸蜜していました(5/22)。
- ・クロスジギンヤンマが産卵していました(5/29)。
- ・ミドリシジミを見ました(6/6)。ミドリシジミの季節が始まりました。

土居幸雄さん(大町在住)

◆こざと公園より

- ・アカメガシワが満開になっていました(6/19)。花粉ダンゴをつけたミツバチがたくさん飛んできていました。

吉田 毅さん(柏井町在住)

◆柏井雑木林周辺より

- ・ミドリヒョウモンがサンゴジュの花にきていました(6/21)。他にもアオスジアゲハなどの蝶がきていました。

清野元之(自然博物館)

◆堀之内貝塚公園より

- ・ホタルカズラが咲いていました(5/1)。他にもジュウニヒトエやキンラン、ギンランなど新緑の林に咲いていました。

介川武夫さん(曾谷在住)

◆じゅんさい池公園周辺より

- ・ナガサキアゲハを見ました(5/21)。

道下誠さん(中国分在住)

- ・カルガモを除けばカモ類は、ヒドリガモ1羽だけになりました(5/20)。

◆里見公園周辺より

- ・アオバズクを見ました(5/28)。昨年観察できなかったのが2年ぶりの観察です。

◆坂川河口周辺より

- ・セッカのさえずりがあちこちで聞かれるようになりました(6/10)。

以上 根本貴久さん(菅野在住)

6月9日に入梅しました。雨は少なく、曇りの日が続きました。



行事案内



観 察 会 お申し込みが必要な行事です。

○いきもの観察会 …いきものの採集を通して、楽しみながら自然に親しみます。

「パッタさがし」は2日とも内容は同じです。ご都合のよい日でお申込みください。

/対象・定員：親子先着 10 組

	テ ー マ	対 象	日 時	場 所	受付開始日
いきもの観察会	虫の声を聴こう	親子	9月9日(土) 午後6～8時	長田谷津	8月19日～
いきもの観察会	パッタさがし	親子	9月10日(日) 午前 9月23日(土) 午前	坂川旧河口	8月19日～

〒申し込み方法〒

往復はがきに、参加者全員の住所、氏名、年齢、電話番号、参加したい行事名、参加希望日を明記の上、自然博物館までお申し込みください。

季節を感じる 散 策 会 お申し込みの必要はありません(雨天中止)。

*集合場所など、詳しくは博物館に直接おたずねください。

テ ー マ	日 時	場 所
江戸川 散歩	9月17日(日) 午前10時～11時30分	江戸川(国府台)
秋 の 野 草	10月15日(日) 午前10時～11時30分	長 田 谷 津

名 前 を し ら べ る 会

あなたがつくった植物・昆虫・貝・岩石などの標本に、専門の先生が名前を付けます。

○日にち 8月27日㊥

○受付時間 9:00～11:30 13:00～15:30 受付順におこないますのでお待ちいただく場合もあります。

○会 場 市川市市民会館(葛飾八幡宮参道脇) 第1会議室

長 田 谷 津 ボ ラ ン テ ィ ア

湿地の環境整備をお手伝いして下さいますませんか。(雨天中止)

- ・日 時 9月24日㊥ 10月22日㊥ 午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・はじめて参加される方は…湿地の中に入る作業もあります。作業内容や身支度、駐車場などについてご案内いたしますので、ご面倒でもまずは博物館にお電話でお問い合わせください。

野草名札付けのお手伝いをして下さいますませんか。

(申し込み不要・雨天中止)

- ・日 時 9月3日㊥、10月1日㊥
午前10時～12時
- ・集合場所 観賞植物園入り口
- ・自家用車をご利用の場合は、博物館までお電話でお問い合わせください。

市立市川自然博物館だより
第18巻 第3号 (通巻第105号)
発行日/平成18年8月1日

編集・発行/市立市川自然博物館
〒272-0801 千葉県市川市大町284番地
☎047(339)0477

<http://www.city.ichikawa.chiba.jp/shisetsu/haku>